

●+□⇒☆▽○ パートナーシップがつくる地域の未来!

地域では、市民、NPO、企業、行政・・・、いろいろな立場の人たちがエコアクションを起こしています。エコアクションをつなぎ、地域に新しい社会のしくみをつくるには、パートナーシップが重要なカギとなります。

このコーナーでは、中部地域で実践されている「環境パートナーシップ」活動をご紹介します。持続可能な地域を実現するヒントを探ります。

「環境パートナーシップ」をサポートします ～環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)～

「市民(消費者)とお店と一緒に環境活動を行うと、もっと進む!」「市民や企業、行政と一緒に考えると、もっと膨らむ!」「分野、セクターを越えて取り組みたい!」そんなふうに考えたことはありませんか?

EPO中部は、「持続可能な地域社会」に向けて、中部地域の市民・NPO、企業、行政などのセクターや分野を越えた取り組みをサポートする支援拠点です。ここではパートナーシップで行う3つの事業をご紹介します。

★「お店」×「地域のNPO・市民」

⇒互いの持ち味を活かした環境学習

ユニー(株)では、店舗で環境学習プログラム「お店探検隊」を実施しています。EPO中部は、お店と地域のNPO・市民と一緒に環境学習を企画・運営するサポート



をしています。暮らしの中のお店と市民の視点や環境教育のノウハウなどを合わせ、より子供たちに伝わり実践につながるプログラムが行われています。(ユ

ニ(株)環境学習協働事業)

★「多様な分野」×「多様なセクター・立場」

⇒持続可能な開発のための教育(ESD)

「今の教育にESDというキーワードをプラスする。」ESDは新しい価値に気づき、生き方、社会、未来をつくりだす力を育む教育であり、その実現のために分野・立場を越えて行うことが必要だと考えます。どう実現するのかを地域の多様な人々と模索しています。(ESD普及・しくみづくりプロジェクト)

★「市民・企業」×「行政」

⇒新しい枠組みや施策

柔軟性を持つ民間・

地域の提案は、膠着した社会システムに新しい枠組みや施策を展開し変容させることができます。環境省の重点施策に民間、地域の課題を照らし合わせ、協働による政策づくりについて意見交換をします。(政策提言セミナー事業)

●お問い合わせ ☎052-973-1033

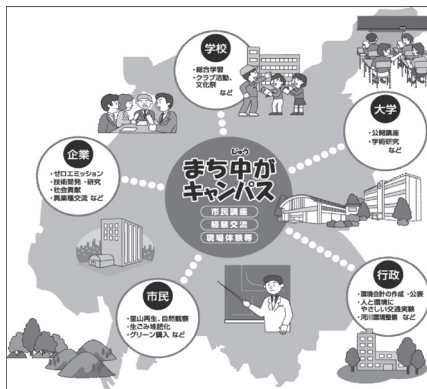


つながるエコ、ひろがるハッピー ～なごや環境大学～

「なごや環境大学」は、キャンパスも入学資格もない、誰にでも開かれた大学です。

企画や運営も、様々な主体による協働によって行われ、共育講座の開催、交流会の実施、社会実験的な“なごやを動かそまい(動かそう)事業”、環境ハンドブック作成などの事業を展開しています。

“なごやを動かそまい事業”として行った東山新池でのかいほり(掻掘)では、専門家や学生も含めた、市民に



よる「名古屋ため池調査実行委員会」と連携し、昨年10月21日に、共育講座「なごや環境学番外編『1021新池かいほり大作戦 2010 に向けて』」として、子供から大人まで107名の受講生

がかいほりを体験し、生息する生物や、その多様性について学びました。

そしてこのかいほりは、まさに協働なくしては実現できなかったことです。本番4か月前から、名古屋ため池調査実行委員会によって、水深やヘド口堆積量調査、生物調査が行われ、1週間ほど前からは、池の水を抜き、水位の管理やスレン・ヘド口の除去などの作業を名古屋市緑政土木局が担当。魚やカメの捕獲には立田漁業協同組合や専門学校生らに協力を仰ぐなど、様々な分野の人たちによる多くの力によって実現した事業です。



今後も、協働と共育によって、「環境首都なごや」をつくるための市民ムーブメントを巻き起こしていくことを目指します。

●お問い合わせ ☎052-223-1223